

～工場セキュリティガイドライン啓発・連続セミナー～
第 11 回：製造業/工場サイバーセキュリティ向上の取組み事例紹介

Edgecross コンソーシアムと東京大学グリーン ICT プロジェクトの合同 WG である工場セキュリティ WG が公開した、「工場セキュリティガイドライン 概要編」の内容を啓発する活動の一環で、公開セミナーの第 11 回目を下記のとおりで開催いたします。

工場のセキュリティ対策を学ぶ機会として、ぜひご活用いただければ幸いに存じます。

参考) 工場セキュリティガイドライン 概要編

https://www.edgexcross.org/client_info/EDGECCROSS/view/userweb/ext/ja/data-download/pdf/ECD-TE4-0009-02-JA.pdf

日時：2024/7/26(金)17:30～19:20

場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部 2 号館

※オンライン Webinar とハイブリッド開催

17:30～17:35

冒頭のご挨拶：工場セキュリティ WG リーダー、
NEC セキュリティ IoT/OT セキュリティユニット ディレクタ
桑田 雅彦様

17:35～18:00

講演 1：電気通信事業者、セキュリティサービス事業者、およびセキュリティ製品オーナーの
視点から、制御システムにおける資産の可視化と常時監視の課題について考える

講演者：エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

イノベーションセンター テクノロジー部門（マネージド&セキュリティサービス部
セキュリティサービス部門 兼務） / 加島 伸悟 様

概要：近年、重要なインフラや産業システムなど、いわゆる OT システムのセキュリティ対策の重要性が叫ばれています。しかし、超重要なインフラや大企業の一部ではセキュリティ対策が行われているものの、サプライチェーン全体で見るとセキュリティ対策が進んでいるとは言い難い現状です。本講演では、通信インフラの制御システムのアセットオーナーであり、SOC サービスを展開するセキュリティサービス事業者であり、かつ独自の国産 OT-IDS「OsecT」を開発・展開するセキュリティ製品オーナーである NTT コミュニケーションズが、大企業や中堅・中小の主に製造業のお客様との取り組み事例を交えながら、前述の段階的なセキュリティ対策がなぜ進まないのか、技術的な課題や施策推進上の課題、それらの克服方法、克服できなかった事例、大企業と中堅・中小企業の違いなどを紹介します。

18:00～18:25

講演 2：経済産業省「IoT 製品に対するセキュリティ適合性評価制度」の概説

講演者：日立チャネルソリューションズ株式会社 情報セキュリティ統括センタ長 / 緒方 日佐男 様

概要：IoT 製品の脆弱性を狙ったサイバー脅威が高まっていることを踏まえ、経済産業省では「IoT 製品に対するセキュリティ適合性評価制度」を 2025 年 3 月に運用開始見込みです。その制度概要や、セキュリティ要件、適合基準、その基準への適合を示すラベルを取得するメリット等について概説

します。本制度の普及策として、政府機関等、重要インフラ事業者、地方公共団体における IoT 製品調達要件へのラベル付与製品の組み込みの他、製品ベンダや調達者・利用者への普及促進策として、各種補助金制度との連携が検討されています。

18:25～18:50

講演 3：生産現場の理解に基づく OT セキュリティ対策の重要性

講演者：三菱電機株式会社 OT セキュリティ事業推進部 コンサルティンググループ/ 大久保 佑 様

概要：本講演では、生産現場の現状と課題に深く踏み込んだ上で、OT セキュリティ対策の重要性を説明します。それぞれの現場に合わせた対策を実行するために重要な手段であるリスクアセスメントと、リスクアセスメントを実施した後の具体的な対策の導入と運用に関する現場の課題についても事例を含めてご紹介します。

18:50～19:15

講演内容に関する議論(講演者+桑田様による)

19:15～19:20

締めのご挨拶：工場セキュリティ WG リーダー、

NEC セキュリティ IoT/OT セキュリティユニット ディレクタ 桑田 雅彦様

参加申込：

事前に申込みが必要です。

申込み方法は下記よりお願いします。

<https://forms.office.com/r/8yD9VfXDbd>